

年間約十億円の売り上げ
を目指す。

波材
磁ド
電シー

電界・磁界とも抑制

銅鉄合金 銅と鉄の合金使用

【さいたま】金属メーカーの銅鉄合金（埼玉県川口市、若海久雄社長、048・226・615）は、銅と鉄の合金を

「さいたま」金属メーカーの銅鉄合金（埼玉県川口市、若海久雄社長、048・226・615）は、銅と鉄の合金を
使った電磁波シールド材を開発した。本社工場内に四千万円程度を投じて溶解炉を導入。近くサンブル出荷を始め、来年一月からの本格量産を目指す。従来のシールド材に比べ電磁波の防止効果を格段に高めたという。開発した「銅鉄合金C」は、銅と鉄の両方を抑えられるという。用途に応じ、銅と鉄の配合比の変更も可能。厚さ五十ミ（ミ）は百万分の一、寸のシールド材なら一枚でも八十一九十ミのシールド効果があり、二枚を重ね合わせれば大半の電磁波を遮へいできるとしている。

同社は比重が違いため合金にはできないといわれる銅と鉄を、特殊な添加物を混ぜて合金にする製造方法を確立したという。通常、電磁波は銅板やアルミ箔（はく）などで抑えるが、複数枚を重ね合わせるなど多くの手間が必要だった。

新開発のシールド材で